

第1章【教育要覧のコンセプトをつかむ】

～なぜ“今”と“むかし”を比較したのか～

2025年現在は、VUCA¹の時代と言われ、変化の激しい時代です。そんな時代にあっても、教育は過去から現在に至るまで形を変えながら営まれてきました。

第1章では、過去から現在を「人口」や「財政」という切り口で比較できるように構成しました。過去から現在までの流れをつかむと未来が少しずつ見えてくるはずです。

人口減少ってニュースでもよく聞くね！
日の出町の現状ってどうなんだろう？



1.VUCAの時代とは、変動性・不確実性・複雑性・曖昧性のある時代という意味である。
(参考) 新たな教育振興基本計画【概要】(令和5年度～令和9年度), 文部科学省

1. 人口推移、児童生徒数の推移

(1) 人口推移

基準日	世帯数	人 口			
		男	女	計	
昭 30.6.1	1,528	4,303	4,182	8,485	合併時
昭 35.6.1	1,567	4,162	4,063	8,225	
昭 40.6.1	1,682	4,112	4,077	8,189	合併 10 周年
昭 45.6.1	1,993	4,331	4,317	8,648	
昭 49.6.1	2,794	5,336	5,205	10,541	町制施行
昭 50.6.1	2,978	5,663	5,500	11,163	合併 20 周年
昭 55.6.1	3,524	6,608	6,446	13,054	
昭 60.6.1	4,407	7,885	7,577	15,462	合併 30 周年
平 2.6.1	4,807	8,216	8005	16,221	
平 7.6.1	5,205	8,408	8160	16,568	合併 40 周年
平 12.6.1	5,911	8,272	8298	16,570	
平 17.6.1	6,141	7,927	7,989	15,916	合併 50 周年
平 22.6.1	6,856	8,171	8,338	16,509	
平 27.6.1	7,337	8,369	8,656	17,025	合併 60 周年
令 2.6.1	7,440	8,211	8,451	16,662	
令 7.6.1	7,529	7,873	8,067	15,940	合併 70 周年



70年前の合併時と比べて、人口は約2倍になっているんだね。
でも、10年位前からだんだん減っていったる…



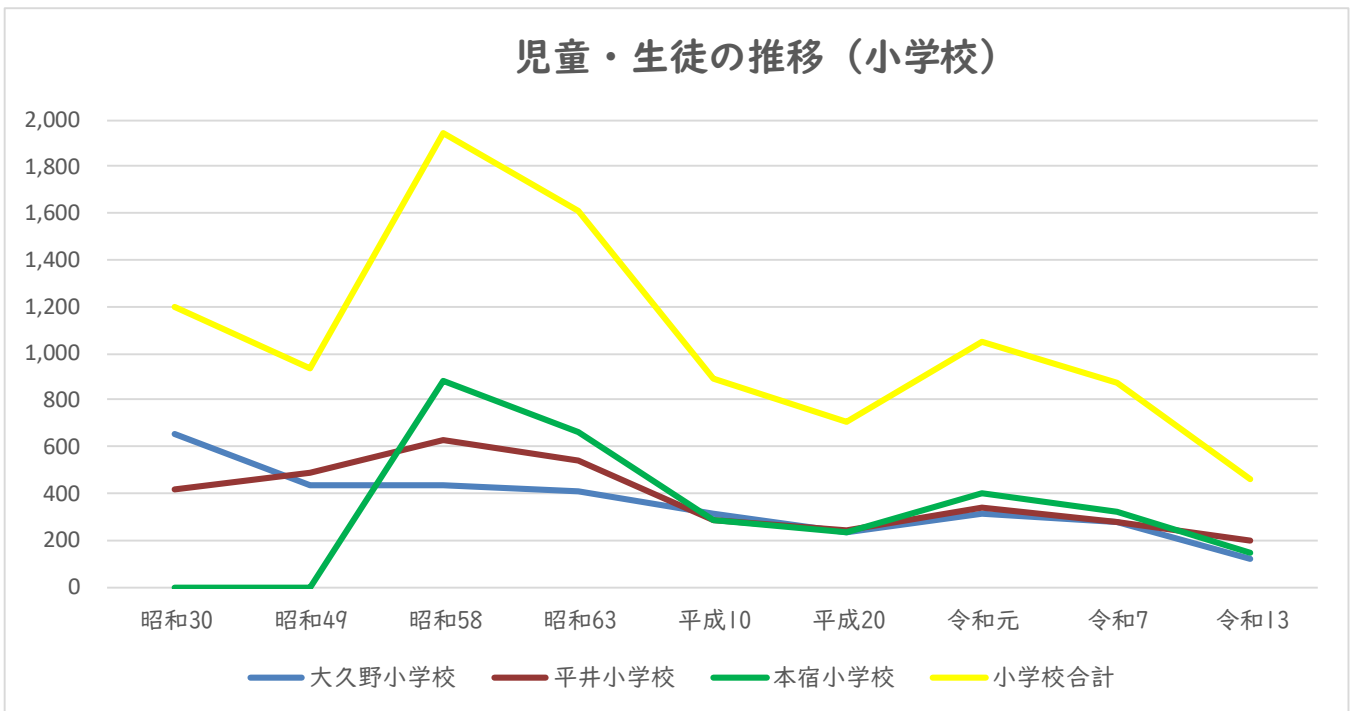
昭和 46 年ごろ 日の出町役場 旧庁舎



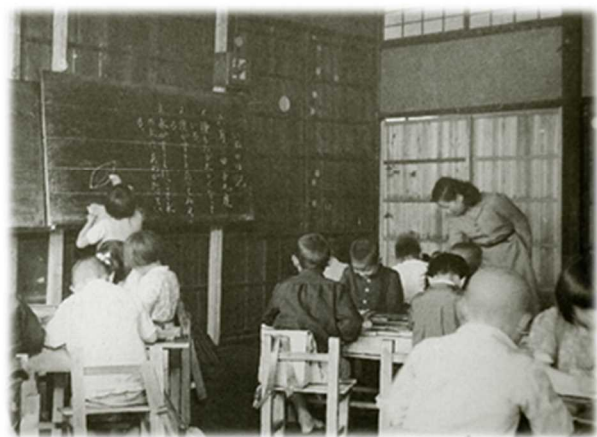
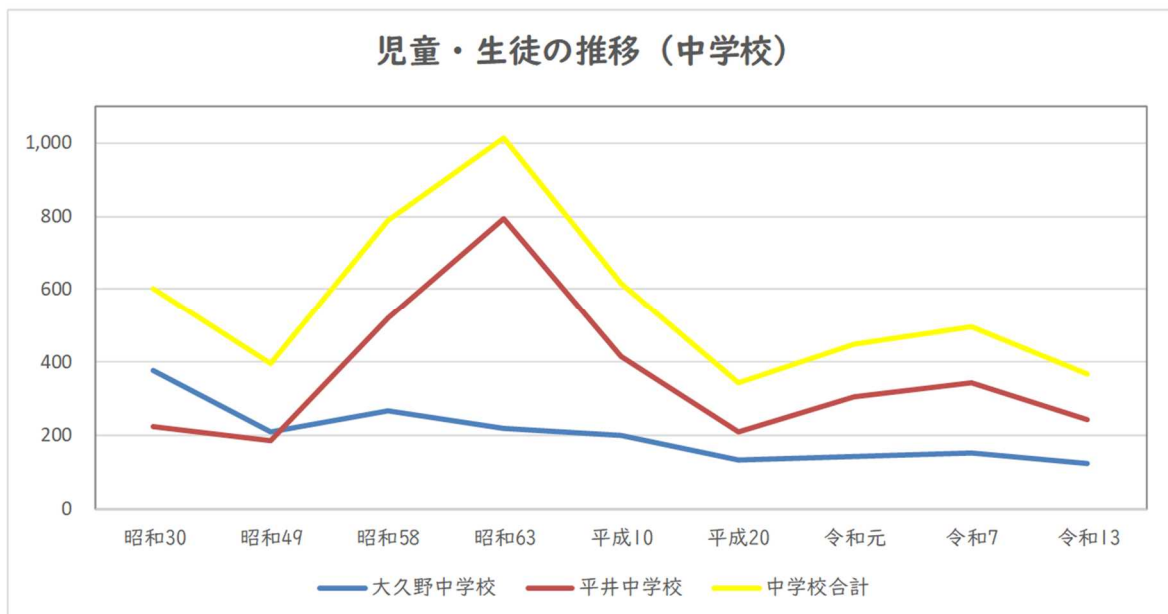
令和 7 年 日の出町役場 庁舎

(2) 児童・生徒の推移

小学校	合併		町政 施行	児童数 ピーク	今 未来				
	昭和30	昭和49			昭和58	昭和63	平成10	平成20	令和元
大久野小学校	653	434	434	412	314	235	311	274	116
(肝要分校)	72	16	-	-	-	-	-	-	-
(坂本分校)	54	-	-	-	-	-	-	-	-
平井小学校	416	489	626	538	287	240	337	279	199
本宿小学校	-	-	885	662	289	234	401	320	143
小学校合計	1,195	939	1,945	1,612	890	709	1,049	873	458



中学校	合併		町政 施行				生徒数 ピーク		今	未来
	昭和30	昭和49	昭和58	昭和63	平成10	平成20	令和元	令和7	令和13	
大久野中学校	377	210	270	218	201	133	145	154	122	
平井中学校	227	187	521	795	414	210	304	345	246	
中学校合計	604	397	791	1,013	615	343	449	499	368	



昭和20年代 平井小学校「授業風景」

児童・生徒数の推移も
図で 見るとよくわかる
ね。
6年後には小学生の数が
いまの半分くらいにな
るなんて...



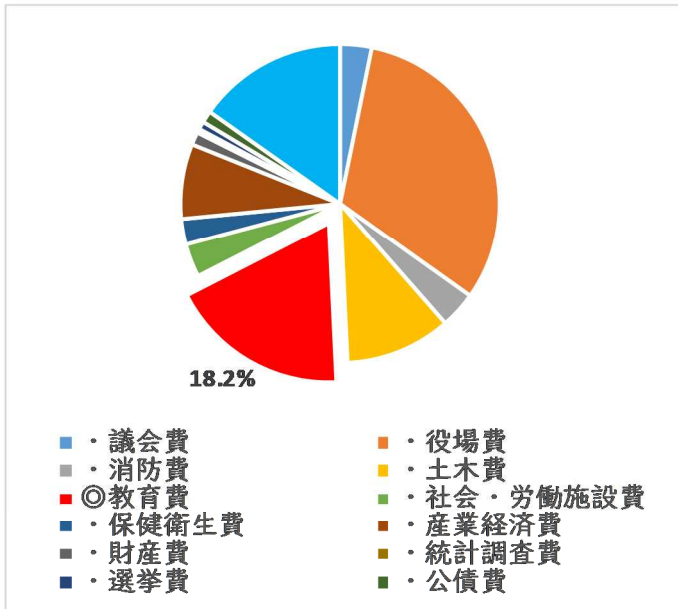
令和7年の平井小学校「授業風景」

2. 教育財政

昭和30年度教育予算の構成

むかし

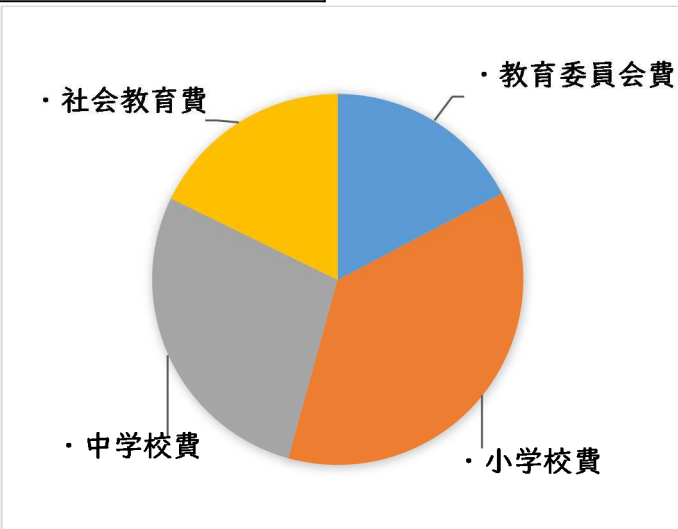
一般会計決算額



歳出予算内訳

項目	金額 (千円)	割合
総額	27,851	
・議会費	887	3.2%
・役場費	8,814	31.7%
・消防費	1,041	3.7%
・土木費	2,972	10.7%
◎教育費	5,060	18.2%
・社会・労働施設費	958	3.4%
・保健衛生費	728	2.6%
・産業経済費	2,119	7.6%
・財産費	369	1.3%
・統計調査費	105	0.4%
・選挙費	236	0.8%
・公債費	323	1.2%
・諸支出費	4,239	15.2%

教育予算の構成



歳出合計

項目	金額 (千円)	割合
総額	5,060	
・教育委員会費	875	17.3%
・小学校費	1,872	37%
・中学校費	1,413	27.9%
・社会教育費	900	17.8%

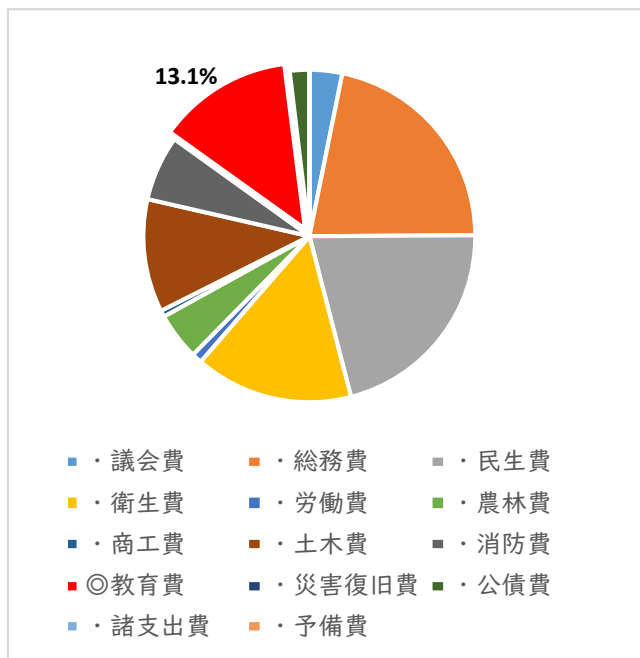
児童・生徒一人当たりにおける教育費

小学校	1,567円
中学校	2,339円

昭和49年度教育予算の構成

むかし

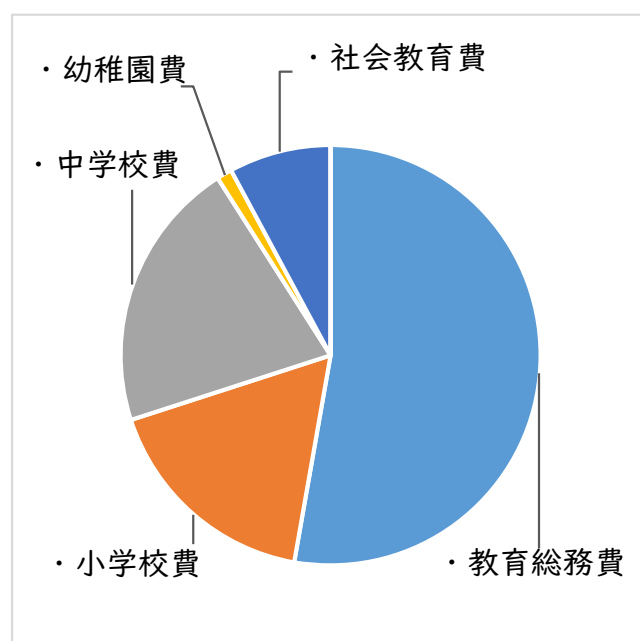
一般会計決算額



歳出予算内訳

項目	金額 (千円)	割合
総額	1,007,293	
・議会費	32,417	3.2%
・総務費	218,534	21.7%
・民生費	211,245	21%
・衛生費	154,945	15.4%
・労働費	10,370	1%
・農林費	46,382	4.6%
・商工費	6,220	0.6%
・土木費	110,789	11%
・消防費	63,866	6.4%
◎教育費	132,288	13.1%
・災害復旧費	1,378	0.1%
・公債費	18,824	1.9%
・諸支出費	35	0%
・予備費	0	0%

教育予算の構成



歳出合計

項目	金額 (千円)	割合
総額	132,288	
・教育総務費	69,808	52.8%
・小学校費	22,816	17.2%
・中学校費	27,713	20.9%
・幼稚園費	1,564	1.2%
・社会教育費	10,387	7.9%

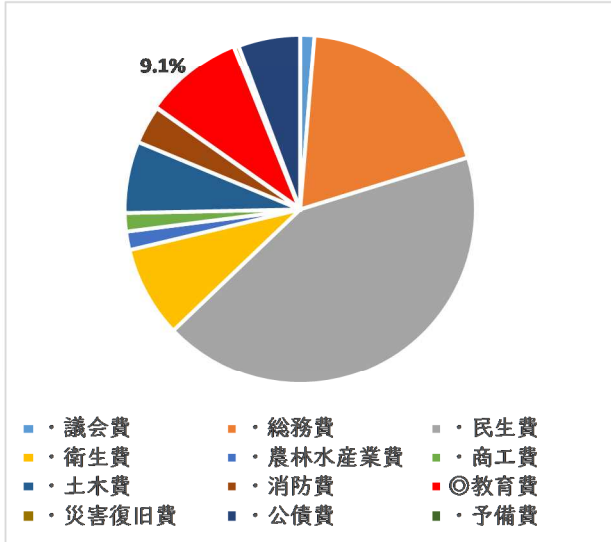
児童・生徒一人あたりに占める教育費

小学校	24,298円
中学校	69,806円

令和6年度教育予算の構成

今

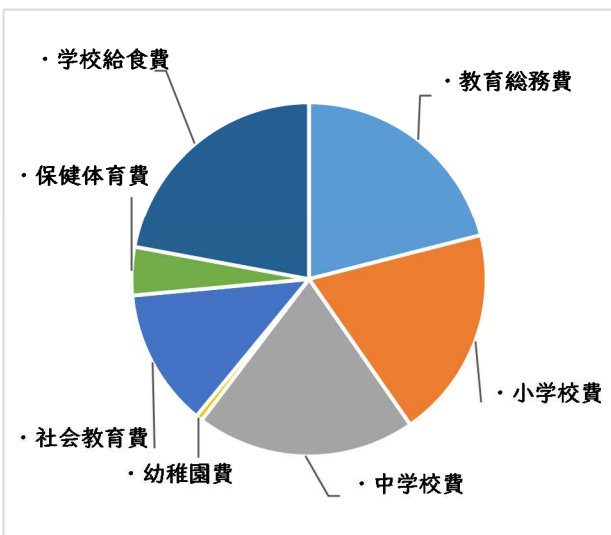
一般会計決算構成



歳出予算内訳

項目	金額	割合
総額	10,300,031 千円	
・議会費	137,475 千円	1.4%
・総務費	1,946,742 千円	18.9%
・民生費	4,389,422 千円	42.6%
・衛生費	864,835 千円	8.4%
・農林水産業費	179,257 千円	1.7%
・商工費	175,926 千円	1.7%
・土木費	683,085 千円	6.6%
・消防費	360,882 千円	3.5%
◎教育費	934,531 千円	9.1%
・災害復旧費	38,785 千円	0.4%
・公債費	589,091 千円	5.7%
・予備費	0 千円	0%

教育予算の構成



歳出合計

項目	金額	割合
総額	934,531 千円	
・教育総務費	196,377 千円	21%
・小学校費	180,545 千円	19.3%
・中学校費	187,035 千円	20%
・幼稚園費	5,539 千円	0.6%
・社会教育費	117,570 千円	12.6%
・保健体育費	41,166 千円	4.4%
・学校給食費	206,299 千円	22.1%

児童・生徒一人当たりにおける教育費

小学校	206,810円
中学校	374,820円

町の予算総額で見ると、教育費の割合は減っているように見えるけど、金額は増え続けているんだね。
児童・生徒一人当たりにおける教育費も年々増加していて、教育に力を入れているという姿勢は今も変わらずだね。



第2章【学校教育と社会教育】

～時代や日の出町教育ビジョンと共にどう変化してきたか～

第2章では、「学校教育編」と「社会教育編」に分けて、時代と共に変化してきたことに焦点を当てていきます。

日の出町の未来を見据えた歩み出し

<small>国の教育の羅針盤 次期教育振興基本計画(文部科学省)</small>	<small>これからの日の出町の町政 第五次日の出町長期総合計画(後期基本計画)</small>
-----------------------------------------------	-------------------------------------------------------

これらを見据えた日の出町の教育 ～日の出町の教育の目指すところ～

共に学び、支え合い、みんなで創る日の出町の教育

大切にしていきたい考え方
～ 日の出町の教育振興のための基本方針 ～

「かかわり」と「つながり」を大切にした教育
共に学び、支え合い、みんなで日の出町の教育を創るに当たっては、顔の見える地域づくりや対話を通して、社会総がかりで日の出町の教育を創り、町民が生産にわたって学び続けることができる教育を実現するために、「かかわり」と「つながり」を大切にした教育を進めていきます。

相互承認と多様性の尊重に基づく「協働」を大切にした教育
一人一人が自分や他者のよさや可能性、多様性を互いに認め合い、人々と協働しながら、社会的な変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓く「持続可能な社会の担い手」を育成するために、教育の最大の基盤である地域コミュニティにおける様々な主体や機会を生かした「協働」を重視した教育を進めていきます。

「学びの循環」を大切にした教育
教育に携わる全ての人が、子どもや他者の学びと成長にかかわる中で、かかわりをつながりを通じた「学び」の成果を地域や次の世代に伝える「学びの循環」を大切にした教育を推進していきます。

(出典) 日の出町教育ビジョン 2023 (概要版)

日の出町教育ビジョンって、日の出町の教育の方向性が示されているものだね！ところで、「社会教育」ってどんな教育なのかわからないなあ。

社会教育は、学校の教育活動を除いて、主に青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動のことを言うよ！生涯学習にもつながる大切な教育でもあるから、この機会に知ってみよう！



1. 学校教育編

日の出町教育ビジョンとの関連を以下に示しました。各ページを見る際の視点としてご活用ください。この「学校教育編」では、教育や学校も時代と共に大きく変わってきていることをお伝えします。

(1) 教育委員会

『レイマンコントロール』で地域とのつながりを大切にしています。

→レイマンコントロールとは、専門家の判断のみによらない、広く地域住民の意向を反映した教育行政を実現するための意思決定の仕組みである。¹

(2) 各種委員会

『教育課程編成』を通して、教員の働き方改革も推進しています。

→教育課程は、総合的に組織した各学校の教育計画である。²

(3) 日の出町の支援教育の歩み

『一人一人の「発達」と「こころ」を支援する「支援教育」』を進めています。

(4) 日の出町コミュニティ・スクール

→コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会（p.13 参照）を設置した学校のことである。³

『子どもたちのしあわせづくり』を地域とともに協働して目指しています。

(5) まなびの HINODE

『探究的な学び』の発表の場を企業と協働して作り、「みんなで創る日の出町の教育」の実現に近づけています。

(6) 学校給食

『食育授業や SNS の活用』を通して、安心・安全を発信しています。

(7) 町立学校の情報をどう読み解く？

『「かわり」と「つながり」、「協働」、「学びの循環」』を大切にした教育の実践を学校とともに推進しています。



聞きなれない言葉もいくつかあるけど、地域とのつながりを強化しているのがわかるね！
子どもたちに日の出町の良さを感じてもらえたら嬉しいな！

1. (参考) 教育委員会制度について, 文部科学省

2. (参考) 中学校学習指導要領(平成 29 年告示) 解説, 文部科学省

3. (参考) コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度), 文部科学省

(1) 教育委員会

町の教育について大切なことを教育委員会の会議で決定しているよ。



1 教育委員会の組織

教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づいて、教育に関する事務を処理するために都道府県や市町村に設置される合議制の執行機関です。町長が議会の同意を得て任命した教育長と4人の委員で構成され、任期は教育長が3年、委員が4年で再任も可能となっています。

教育長は、教育委員会を代表し、会議を主宰するとともに、教育委員会の権限に属する全ての事務をつかさどり、事務局の指揮監督をします。教育委員会の会議は、毎月開催する定例会と必要に応じて開催する臨時会があり、原則公開となっています。

2 教育委員

昭和30年の教育委員と教育長

むかし

	氏名	就任	満了	備考
教育長	浜中正路	昭和30年6月1日	昭和40年9月30日	
委員長	森田司	昭和30年6月1日	昭和30年8月30日	~昭和30年8月30日 委員長在任終了
委員長	小島禅法	昭和30年6月1日	昭和31年9月30日	昭和30年8月30日~ 委員長就任
委員	遠藤恒蔵	昭和30年8月1日	昭和38年9月30日	
委員	神田良通	昭和30年8月1日	昭和35年9月30日	
委員	青木左武郎	昭和30年8月31日	昭和35年9月30日	
委員	田中義尚	昭和30年8月31日	昭和31年9月30日	

今

令和7年の教育委員と教育長

	氏名	初就任	満了	備考
教育長	平崎一美	令和6年12月15日	令和9年12月14日	
職務代理者	濱松裕子	平成20年6月10日	令和8年6月30日	
委員	古山吉利	平成24年6月10日	令和9年6月30日	
委員	高野泰弘	平成30年10月1日	令和11年6月30日	
委員	野口純子	令和6年7月1日	令和10年6月30日	



教育委員は、年齢や性別、職業に偏りがないように選ばれていて、保護者の立場からも参加している人がいるんだよ。「地域とのつながり」を大切にしているんだね。

(2) 各種連絡会

日の出町教育委員会が運営する各種連絡会には、以下のものがあります。それぞれ目的をもち、日の出町の教育の充実に向けて教育委員会と学校が協力して取り組んでいます。教務主任連絡会に焦点を絞り、ミッションや位置づけの変遷を概観しながら、これからの教育の方向性をともに考えていきましょう。

令和7年度に設置している連絡会一覧		
校長連絡会	副校長連絡会	教務主任連絡会
生活指導主任連絡会	支援教育運営委員会	支援教育・登校支援コーディネーター連絡会

～教務主任連絡会のミッションの変遷～

変わってきたもの

**教育課程のPDCAサイクル化
学校課題や教育課題の解決**

【令和7年 現在】

- 教育課程のPDCAサイクルの推進
- 教育課程の精選
- 教育課程編成に係る働き方改革
- 教務に関する施策や方針の伝達

【平成29年 教育要覧】

- 教務に関する施策や方針の伝達
- 教育課程に関する課題の把握
- 課題解決に向けた教務主任の対応
- 教務主任の職務の共通理解

【平成13年 教育要覧】

- 完全週休2日制への対応
 - ・教育課程編成上の課題解決
 - ・教育課程実施上の課題解決
- 円滑な学校運営

【昭和61年 教育要覧】

- 教育事務の能率化
- 教育課程の企画、運営
- 教務関係についての研究協議
- 教育活動の一層の充実

変わらないもの

**教育課程編成の要であること
施策を取り入れていくこと**

変わらないものと変わってきたものがあるんだね！



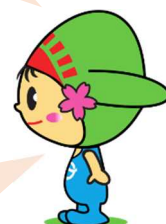
どうしてPDCAサイクル化されてきたの？

教育には不易と流行があって、そのバランスを取りつつ教育課程を編成するにはPDCAサイクルを意識していくことが大事！少しずつ形を変えながら今後の教育を見定めていく必要があるんだよ！



どうして学校課題や教育課題の解決もミッションなの？

現在、教員不足が深刻なんだって！教育の充実や持続可能性を高めるため、学校・保護者・地域がともに担っていくことが必要だから、教育課程を通じた課題解決が求められているんだよ！



(3) 日の出町の支援教育の歩み ～「特別」ではない、当たり前前の支援を目指して～

国や東京都では、平成19年度から「特殊教育(心身障害教育)」を改め、子ども一人一人の教育的ニーズに応じて適切な教育的支援を行う「特別支援教育」を始めました。

日の出町では「一人一人の発達を支援する教育」と「一人一人のこころを支援する教育」という2つの視点からとらえなおし、誰もが必要としている一人一人の個性や特徴に応じた支援を当たり前前に提供できる教育を目指し、名称を「支援教育」として取組を進めてきました。

年	国・東京都の 取り組み	町の「支援教育」の取り組み	
		発達の支援	こころの支援
S56	1981	平井小に知的固定学級開設	
S58	1983	大久野中に知的固定学級(C組)開設	
S59	1984	小学校の知的固定学級、大久野小に移転(すぎの子学級)	
S60	1985		日の出町教育相談室開設
H7	1995	国)スクールカウンセラー(*SCと略す)活用調査事業開始	
H9	1997	都立あきる野学園開校	平井中 SC 活用事業実施
H11	1999		教育相談室に臨床心理士配置
H14	2002	都)SC 中学校全校配置	大久野中にも SC 配置
H17	2005	国)発達障害者支援法施行	
H18	2006	本宿小通級(ステップ!)開設	適応支援グループ Let's 開始
H19	2007	国・都)特別支援教育開始	日の出町「支援教育」開始
H20	2008		就学支援シート活用開始
H23	2011		平井中通級開設
H25	2013	都)SC 小・中全校配置	平井小通級(まなぼ)大久野中通級開設 小・中全校に SC 配置
H26	2014	国)障害者権利条約批准	大久野小通級(キラ)開設
H28	2016	国)障害者差別解消法施行	
H29	2017	国)教育機会均等法施行	
H30	2018		小学校の通級が支援教室に移行(全校拠点校・巡回併用)
R3	2021		中学校の通級が支援教室に移行(全校拠点校・巡回併用)
R5	2023	国)誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策(COCOLOプラン)	登校支援ルーム(平井小・大久野中・平井中)設置(都費)
R7	2025		登校支援ルーム全校設置(町費)

日の出町の支援教育のスタートは、昭和の時代にあったんだ!

SCの配置は西多摩地区で最も早かったんだって!



2014年には町内全校で自校通級が受けられるように整備されたんだね!

通級の全校設置は、東京都内で日の出町だけが実現したんだよ!全国的にも自校通級が46.3%の中で日の出町は、100%を実現したんだ!¹



登校支援ルームってどんな場所なの?

学習空間にも生活空間にもなる心のエネルギーを充電できるような居場所を目指しているよ!





子どもたちは、日の出町の宝物だよ。これからも、誰一人取り残さない教育を目指して、様々な「支援教育」の取り組みを進めていくことを約束するよ!

1.(参考)平成26年度通級による指導実施状況調査結果について,文部科学省

(4) 日の出町コミュニティ・スクール

日の出町では、令和6年度に、「日の出町コミュニティ・スクール創設準備連絡協議会」を設置し、基本理念や取組の方向性を確認してきました。令和7年度からは、大久野中学校に「地域住民が、学校と一緒に学校の運営について考える学校運営協議会」を設置し、コミュニティ・スクールとしての第一歩を歩み始めています。今までとこれからでは、何が変わるのでしょうか？

学校評議員制度 ¹	学校運営協議会制度 ²
 <p style="color: orange; font-size: 1.2em;">これまで</p>	 <p style="color: orange; font-size: 1.2em;">これから</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・学校評議員は、校長の求めに応じ、校長が行う学校運営に関し、意見を述べることができる。 ・学校評議員に意見を求める事項は、校長が判断する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校長が作成した学校運営の基本方針を承認する。 ・学校運営に関して、校長や教育委員会に意見を述べるができる。 ・教職員の任用等に関して、意見を述べるができる。

日の出町コミュニティ・スクールとは

【基本理念】

・子どもたちのしあわせづくりのために、学校運営に参画し、「共に学び、支え合い、みんなで創る学校」を目指す。

【取組の方向性】

- ①子どもの今、将来のしあわせをサポート
- ②学校運営への参画による質の高い学校づくり
- ③対話や熟議を通じた課題解決
- ④学校のパートナー・伴走者・応援団としてのサポート



リーフレットはこちら

学校評議員と学校運営協議会って何が違うの？



学校運営協議会の委員は、「学校組織の一員」になることが大きな違いだよ！



今まで以上に、保護者や地域の声を聴くことが当たり前になっていくね！

1. (参考) 学校評議員について、文部科学省
 2. (参考) 学校運営協議会設置の手引き、文部科学省

(5) まなびの HINODE

令和5年度より、まなびの HINODE として、町立小中学校に在籍する児童・生徒を対象に、夏休み期間を活用して、「行って、見て、聞いて、調べてみて」気付いたことをまとめ、情報発信する機会を作り、学校の教育活動に加え、日の出町教育委員会として、「まなび」の機会の創出に努めています。以下には、令和5年度からの取組と日の出町教育ビジョン 2023 のつながりを概観し、次期日の出町教育ビジョンに思いを寄せていきましょう。

まなびの HINODE

【目指すところ】

日の出町教育ビジョン 2023 共に学び 支え合い みんなで創る日の出町の教育 の実現

【具体的な方向】

日の出町について「行って、見て、聞いて、調べてみて」気付いたことをまとめ、発表する

コンクールの名称

【令和5年度】
キャッチコピー
(小学校高学年を対象)



【令和6年度】
キャッチフレーズ&ロゴマーク
(小学校高学年・中学生を対象)



【令和7年度】
まちづくり探究
(中学校1・2年生を対象)



コンクールの成果

児童たちが日の出町の良さや魅力について感じていることを中心にまとめ、日の出町により詳しくなることができた。

日の出町合併 70 周年記念プレ事業として行い、入賞作品を日の出町の印刷物等に活用し、まちづくりとの関連を深めた。

日の出町のこれからの担う君ならどんなことを考える?というテーマで行い、町民としてまちづくりへの関心を高めた。

大切にしていきたい考え方との関連

「かかわり」
「つながり」



「協働」

「学びの循環」

日の出町教育委員会と学校だけでなく、地域住民への情報発信する機会を創り、「学びの循環」の起点を作る取組を目指しています。

『実際に作られたロゴマーク』



まちづくりに関心を高めるって
すごくよさそうな取組だね!

子どもたちの学んでいる「持続可能な社会づくり」という視点を活用して表現していくリアルな機会が一層学びになりそう!

学びが深まるだけでなく、将来に希望がもてるようになりそうだね!
日の出町の未来にわくわくする!

(6) 学校給食

1. 学校給食の目的

将来を担う児童・生徒にバランスの取れた栄養のある手作りで安全・安心なおいしい給食を提供することにより、心身の健全な発達に資するとともに、学校と連携した食育授業をとおして、食に関する正しい知識や食習慣などを指導し、食育の推進を図ることを目的としています。

2. 学校給食のあゆみ

日の出町の学校給食は、昭和33年9月に大久野小学校で自校調理方式により実施したのが始まりです。

昭和35年1月から平井小学校で実施、中学校では昭和40年4月からミルクのみの給食を開始しています。

その後、昭和40年代後半から集団住宅等の造成で人口が急増し、昭和53年4月には本宿小学校が平井小学校から分離し開校しました。この新設校の建設に先立ち、これからの学校給食の調理方式について、自校方式か共同調理方式かを検討した結果、昭和53年度に給食能力2,500食の給食センターを建設することが決定されました。

昭和54年4月、大久野小学校、平井小学校、本宿小学校並びに大久野中学校、平井中学校の学校給食調理場として開業され、大久野、平井両小学校の自校給食調理場が廃止されました。

その後、昭和57年度と昭和59年度には給食数の増加に合わせた施設の改造と設備の増設を行いました。

施設の概要

調理能力	3,000 食 現在は約 1,700 食を調理
延床面積	約 600 m ²
献立	小学校 献立 中学校 献立
食器	5 種類 (トレイ除く) 樹脂食器 (PEN 食器)
構造 階数	鉄骨造、地上 2 階建
建設費	約 1 億 2,800 万円



3. 給食費

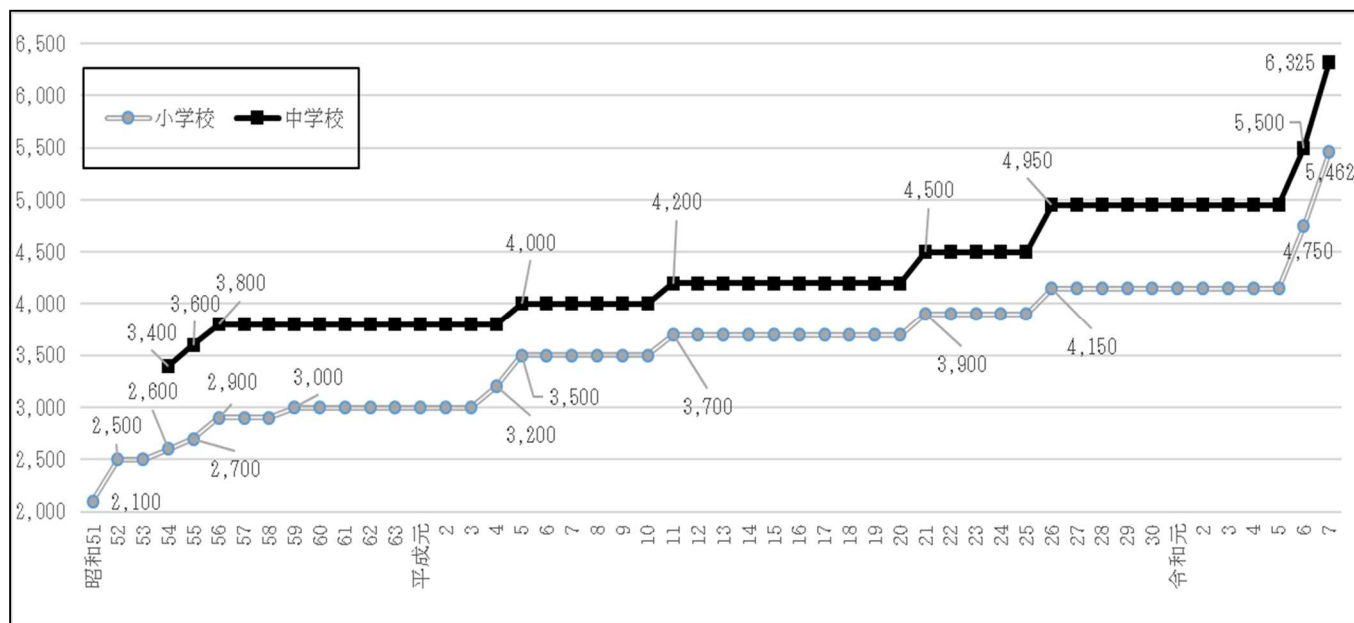
(1) 給食費の推移

給食センターによる学校給食の提供が始まった昭和54年度の給食費（月額）は小学校が2,600円、中学校が3,400円で開始しました。平成9年度から消費税が3%から5%に増税された影響を受けて、平成11年度に小・中学校ともに200円の増額改定し、原油価格高騰に伴う食材料高騰の影響を受けて、平成21年度に小学校は200円、中学校は300円の増額改定し、平成26年度に消費税が5%から8%に増税される影響を受けて、小学校は250円、中学校は450円の増額改定を行いました。

その後、令和元年には消費税が8%から10%に増税されましたが、献立の工夫などで給食費は据え置きとなっていました。食材料価格の高騰を受けて、令和6年には小学校は600円、中学校は550円の増額改定し、米価格の急激な上昇の影響を受けて、令和7年には小学校は712円、中学校は825円の増額改定を行いました。

給食費の推移（月額）

単位（円）



※平成21年から小学校の給食費は1・2年生、3・4年生、5・6年生の3分類に分かれています。表の月額額は3分類の平均額です。



給食センターからの給食の提供が始まった昭和54年度と比較すると、令和7年度は給食費が2倍以上も高くなっているんだね。
特に令和6、7年度の増額率が高くなっているね。

(2) 給食費の支援（日の出町立小・中学校給食すくすく支援事業）

児童・生徒へ安全でおいしい給食を安定的に提供することで、日の出町立小中学校に通う児童・生徒の心身の健康と成長を支え、食育（教育環境）の充実をはかることを目的に、令和6年10月から日の出町立小・中学校に通学し、日の出町学校給食センターから学校給食の提供を受けている児童・生徒の給食費を全額支援しています。

4. 食育

(1) 食育授業

給食センターに勤務する栄養士が小・中学校の全クラスに対し、食育授業を行っています。

小学校1年生では学校給食の内容を知り、スムーズに準備にとりかけられるように、手洗いなどの衛生面の大切さや、給食時間は騒がずに、よく噛んで食べることの大切さなどのテーマで授業を行い、小学校6年生では、オリジナルの献立を考える授業を行います。献立を考える際には、栄養や美味しさ・味のバランス、見た目や彩りなどに注意しながら考えられるように学習します。



中学校では、部活動を行う生徒も多いことから、スポーツと栄養の関係性やダイエットと食に関すること、受験期に体調を保つための食生活のポイントなどを学習しており、その年代の興味・関心に合わせた食育授業を行っています。

(2) 思い出献立

卒業を控えた小学校6年生、中学校3年生を対象に、親しんできた給食の思い出として印象に残った献立を選んでもらい、毎日みんなで食べた給食を思い出の一つとして学校から巣立って欲しいとの思いを込めて実施しています。

4月から12月までの給食献立のうち、残菜率の低かったものの中から印象に残った献立を投票し、得票の多かった2つの献立を3月に思い出の給食として提供しています。

最も得票が多かった献立

年度	小学校6年生	中学校3年生
平成24年度	ナン、キーマカレー、フライドポテト、大根とわかめのサラダ	そばろごはん、じゃが芋とわかめの味噌汁、豚肉の生姜焼き、みかん
平成25年度	そばろごはん、葱の澄まし汁、鶏肉の唐揚げ、お浸し	小学校と同じ
平成26年度	揚げパン、ポトフ、ミモザソテー、なし	小学校と同じ
平成27年度	醤油ラーメン、ガーリックポテト、冷凍みかん	キムチご飯、五目スープ、鶏肉のから揚げ、わかめのサラダ
平成28年度	味噌ラーメンスープ、野菜チップス、ぶどうゼリー	小学校と同じ
平成29年度	味噌ラーメン、野菜チップス、ヨーグルト	小学校と同じ
平成30年度	味噌ラーメン、野菜チップス、メロン	小学校と同じ
令和元年度	そばろご飯、じゃが芋と葱の味噌汁、かつおの竜田揚げ、お浸し	小学校と同じ
令和2年度	ゆで中華麺、味噌ラーメンスープ、野菜チップス	小学校と同じ
令和3年度	ゆで中華麺、醤油ラーメンスープ、野菜チップス、プリン	小学校と同じ
令和4年度	わかめご飯、もやしの坦々スープ、鶏肉のから揚げ、ほうれん草のお浸し	小学校と同じ
令和5年度	ゆで中華麺、味噌ラーメンスープ、野菜チップス、清見オレンジ	小学校と同じ
令和6年度	ゆで中華麺、醤油ラーメンスープ、野菜チップス、ぶどうゼリー	小学校と同じ



小学生も中学生も麺の献立が好きなんだね！
給食では、ときどきしか食べられないから食べたくなるのかな？
学校で食べた給食のこと、卒業した後も覚えていてくれると嬉しいなあ。

(3) 夏休み料理教室

夏休み料理教室は平成15年度からスタートし、料理を通じて、協力することや食事のあり方、マナーに対する意識を高め、将来を担う子ども達の健全な育成を図るこ

とを目的とし、食育事業の一環として続けているイベントです。

例年、約40名の児童が参加し、給食センターの栄養士、調理員からの指導を受けながら、料理を学んでいます。



普段、給食を調理している調理員さんが優しく教えてくれるよ。



5. SNSでの情報発信

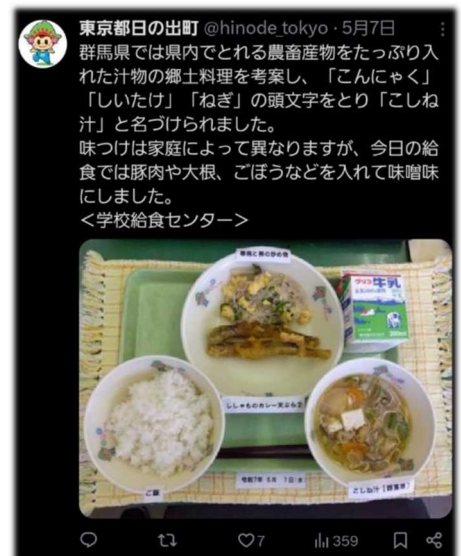
学校給食センターでは、令和3年度からX（旧ツイッター）で給食献立の写真の投稿を開始しました。

また、「日の出町学校給食センターの一日」を通して、学校給食がどのように作られ児童・生徒のもとへ届けられ、どのように捨てられていくのか。また、どのような衛生管理の下にどれだけの人々が学校給食に関わっているのかがわかる動画を制作し、令和6年にYouTubeに公開しました。

これからも学校給食に更に興味関心を高めていただけるようSNSを活用し、情報発信に努めていきます。



YouTubeの再生画面



X（旧ツイッター）の画面



日の出町公式 YouTube チャンネル

動画は左の二次元コードを読み取ることでご覧いただけます。

6. 新しい学校給食センターの建設

昭和54年に建設された現在の学校給食センターは建物、設備の老朽化への対応が課題となっています。

同様の課題を抱えるあきる野市と施設を集約・統合した新学校給食センターの共同整備及び運営に向けて、「新学校給食センターの建設及び運営に関する基本合意書」を令和2年度に締結しました。

日の出町とあきる野市は学校給食法、食育基本法、学校給食衛生管理基準等の関係法令、基本合意書及び基本協定書に基づいて両市町の学校給食センターの現状や課題を整理し、共同整備及び運営に係る基本方針、施設内容、運営方式等の方向性を示す「新学校給食センター共同整備・運営方針（実施計画）」を令和4年度に策定し、5年度から6年度にかけて設計を行いました。

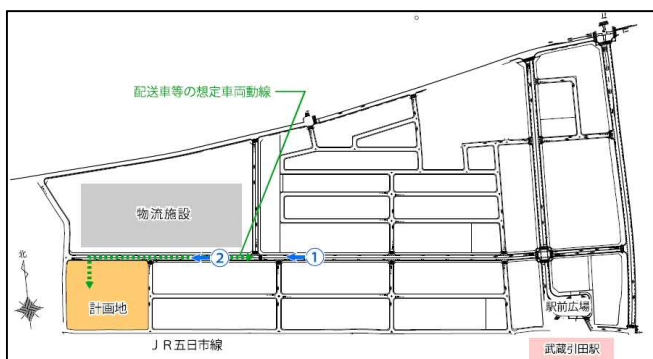
今後は建設に向けてあきる野市と協議を進めていきます。

施設の想定概要

調理能力	最大 8,000 食
敷地面積	約 8,800 m ²
延床面積	約 4,100 m ² ※
献立	小学校 1 献立 中学校 1 献立
食器	5 種類（トレイ除く） 樹脂食器（PEN食器）
構造 階数	鉄骨造、地上 2 階建 1 階 委託事業者エリア 市町職員エリア 調理場 2 階 委託事業者エリア 食育エリア
その他	アレルギー対応専用調理室（最大 120 食）

※附属施設を含む面積（庇除く）

新学校給食センター計画地



見学通路イメージ

新しい学校給食センターで調理された給食を食べるのが楽しみだね！



新学校給食センター外観鳥瞰図

(7) 町立学校の情報をどう読み解く？

ここからは、各学校のページとなります。教育要覧を見ていただいている皆さん、小学生・中学生時代の気持ちを思い出してみませんか？ 学校らしく、下記のワークシートに沿って、学校の魅力を発見していきましょう！【ワーク】では、「思考力・判断力・表現力」が求められるものもあります。皆さんの答えを見つける面白さをぜひ体験してみてください！

日の出町立学校の良さを見つけよう！

名前

【ワーク1】各学校の特色ある学校づくりを見て、線で見つけてみよう！

大久野小学校

● **コミュニティ・スクール**で保護者や地域と協働
「**立ちどまりの場**」の設置

平井小学校

● **共生社会**を生きる力を育てるプログラム開発
芝生の校庭ならではの豊かな体育的活動

本宿小学校

● 平井川にすむ**野生生物**や**野鳥**の観察
人権教育等を通した**心の教育**

大久野中学校

● 地域人材や特色を生かした**高齢者理解教育**
表現力等を高める**パフォーマンス集会**

平井中学校

● 効果的な**地域人材**の活用の推進
生徒理解を深めるための心理調査の活用



【ワーク2】特色ある学校づくりの共通点を見つけよう！

【共通点】

【ワーク3】最後に、学校を1つ選んで、良さが伝わるキャッチフレーズをつけてみよう！

学校名	キャッチフレーズ
学校	<input type="text"/>

なかなか考えるのって難しいけど、自分なりの納得のいく答えを見つけるって面白さがあるね！ 答えがない問題に立ち向かうとき、今まで経験してきたことをたくさん思い返した気がする。これが今の「学び」なのかな。





日の出町立大久野小学校

児童数	274	学級数	11	教員数	22
支援学級(知的固定・すぎの子)	2	支援教室(キラリ)	1		

※令和7年4月1日現在

校長 小原 正弘
 副校長 山崎 怜
 主幹教諭 青木 勝司
 主幹教諭 鈴木 誠志

◆校章の由来

桜の花に大久野の「大」をあしらう。昭和8年制定の旧校歌にも「桜の徽章仰ぎつつ」とうたわれている。

開校	明治5年8月2日
開校記念日	10月20日
校章制定	明治43年4月15日

1 学校教育目標

- すすんで学ぶ子
- やさしい子
- たくましい子



2 地域・児童の様子

大久野地区は自然に恵まれた地域で、日の出山、羽生山などの山林や平井川、北大久野川などの河川では、様々な種類の動物や植物を見ることができる。

児童は、明るく素直で、様々な活動に意欲的に取り組むことができる。自分の考えを明確に伝えることはあまり得意ではなく、自己表現力の向上が課題である。

3 特色ある教育活動

○官学連携事業

日の出町の施策である「高齢者・認知症のある人にやさしいまちづくり」のもと、日の出町や東京大学大学院医学研究科と連携して、「共生社会を生きる力を育てるための体系的・継続的な教育プログラムを策定・実践・評価する」ことを目的に、福祉に教育に関する研究（3年次）をすすめている。

研究では、「高齢者を支える地域の輪」をテーマとした授業を実施し、実践結果を分析・評価して教育プログラムの充実・改善・完成を目指す。

○校庭芝生の活用

校庭のほぼ全面の約3800㎡が芝生化されており、芝生の校庭ならではの豊かな体育的活動に活用されている。

○縦割りによるブロック活動

全校児童で縦割り班を構成し、ロング昼休み等を活用して異年齢集団による活動を、年間を通じて実施。



大久野小 HP

所在地	西多摩郡日の出町大字大久野1176
TEL	042-597-0551
FAX	042-597-0608
HP	http://fa.fureai-cloud.jp/ogn_e



日の出町立平井小学校

児童数	279	学級数	12	教員数	29
支援学級設置なし			支援教室(まなぼ)	1	

※令和7年4月1日現在

校長 森田 哲生
副校長 峯浦 雅典
主幹教諭 宇都宮 直
主幹教諭 堀内智亜稀

◆校章の由来

桜の花びらの間に平井の文字を図案化したもの

開校	明治6年7月5日
開校記念日	12月5日
校章制定	昭和35年11月27日

1 学校教育目標

- ・すすんで学ぶ子
- ・やさしい子
- ・からだをきたえる子



2 地域・児童の様子

本校は、圏央道日の出インターに近く、工業団地やショッピングモールがありながらも、平井川や平井丘陵等豊かな自然環境の中にある。

地域学校協働活動推進事業運営委員会が設置され、学校支援コーディネーターを中心に連携を図っている。図書、花・植栽、防犯などのボランティア活動が活発であり、地域・保護者の方々が学校に対して協力的である。

児童は、穏やかでまじめ、与えられた課題や仕事に対して一生懸命に取り組む児童が多い。自己肯定感が低い児童も見られるが、自ら考えて主体的・自発的に活動し、他との対話や協働にも積極的に取り組む力も育ってきている。

3 特色ある教育活動

〈学校経営スローガン〉

「ウェルビーイングな学校」 「㊦ひとりひとりが ㊧らしさを活かし ㊨いきいき学ぶ」

☆河川基金助成事業校15年目「平井川にすむ水生生物や野鳥の観察」

☆学校図書館活用実践校

☆心の教育(校内研究を中心に)

・人権教育の推進 ・縦割り班活動の充実 ・かかわり合う、振り返り活動の推進

☆ESDの推進

・稲作体験 ・平井川学習 ・ゲストティーチャーや外部講師の活用

○朝の学習、基本タイムによる基礎学力の定着

○「まなぼ」教室と充実した支援体制

○「ほっとルーム」による登校支援と居場所作り

○早寝・早起き・朝ごはんの推進

○GIGA 端末の積極的な活用

○ホームページ、ブログ、メール等

による学校の様子積極的な発信



平井小 HP

所在地	西多摩郡日の出町大字平井1218
TEL	042-597-0044
FAX	042-597-0165
HP	https://fa.fureai-cloud.jp/_view/hri_e



日の出町立本宿小学校

児童数	320	学級数	13	教員数	21
支援学級設置なし			支援教室(ステップ!)		1

※令和7年4月1日現在

校長 宮崎 貴仁
 副校長 宮澤 信周
 主幹教諭 矢野 明德
 主幹教諭 佐藤 翠

◆校章の由来

本宿小の「本」の字を組み合わせて栗の葉を図案化した。
 大きな葉は学校・家庭・地域を、小さな葉は児童・保護者・
 教職員を象徴し、
 その連携の中で児童の成長を願う。

開校	昭和53年4月1日
開校記念日	7月1日
校章制定	昭和53年4月1日

1 学校教育目標

- ・よく考える子
- ・やさしい子
- ・たくましい子



2 地域・児童の様子

- ・日の出町平井地区の南部分を校区としている。地域は、住宅、商業施設、農地、工場等が混在している。他校の校区に比べて新しく拓けた地域であり、校区の西部分には大規模住宅団地が、東の端には大規模商業施設がある。また、学校の近くを流れる平井川の周辺は豊かな自然に恵まれており、児童の遊びや学習の場となっている。
- ・保護者、地域住民の学校に対する期待は大きく、学校の教育方針や教育活動への理解は進んでいる。特に、学校行事や地域での児童の安全確保については関心が高く、地域コーディネーターを中心に連携を図り、学校への支援やボランティア活動への協力を惜しまない。
- ・素直で純朴な児童や感受性の豊かな児童が多い。学校では、真面目に学習に取り組み、学力・体力を身に付けるとともに、集団生活を通して、自己表現や人とのかかわり方、規範意識等について学んでいる。家庭では、保護者の指導・支援により、主に基本的な生活習慣の習得に努力している。

3 特色ある教育活動

《児童・教職員・保護者・地域の方、みんなが行きたくなる学校》

- 温度が感じられる学校
- 速さが感じられる学校
- 高さが感じられる学校
- ・表現力と自主性を高める取組・・・学習発表会／パフォーマンス集会
- ・地域の人材、地域の特色を生かした取組・・・高齢者理解教育／健康・ケア学習
- ・体力を高める取組・・・なわとびチャレンジ／持久走活動旬間
- ・豊かな人間関係を築く取組・・・縦割りの異年齢集団による特別活動
- ・自らの生き方や将来を考える取組・・・ゲストティーチャーによる講演会
- ・全ての児童の居場所を作る取組・・・Nextルーム(登校支援ルーム)の設置
- ・開かれた学校づくりの取組・・・学校ホームページやメールでの情報発信



本宿小 HP

所在地	西多摩郡日の出町平井1855	HP	http://fa.fureai-cloud.jp/hon_e
TEL	042-597-0400	FAX	042-597-0586



日の出町立大久野中学校

生徒数	154	学級数	6	教員数	19
支援学級（知的固定・C組）	2	通級支援教室	1		

※令和7年4月1日現在

校長	高橋	正充
副校長	若林	秀一
主幹教諭	藤村	英夫
主幹教諭	荒川	隆博
主幹教諭	松岡	諒

◆校章の由来

開校した翌年に制定された。図案を一般から公募し、宮岡一雄（元明治大学教授・元町長宮岡武一氏の実弟）氏の作品が採用された。

校章は旭日に匂う桜花を基本とし、中央に「中」の字を記し、さらに桜の花弁の交わるところに「大」の文字をあしらい、当時の大久野村の村民が拳がって中学校を盛り立てている姿を表現している。5枚の花弁は全体として「大」の字の形状に見立てられている。当時の日本が未来を託した新制教育への期待を桜花と旭日の姿に求める気運も込められている。

開校	昭和22年4月1日
開校記念日	5月1日
校章制定	昭和23年4月5日

1 学校教育目標

未来をひらく ゆたかな社会人をめざして

- 自ら進んで学ぼう
- 思いやりの心 感動する心をもとう
- たくましく 心とからだを鍛えよう

2 地域・児童の様子

- 地域 周囲を森林に囲まれ、たくさんの木々が作り出す澄んだ空気に囲まれた、自然豊かで人々の温かみが感じられる地域である
- 生徒 純朴で素直であり、元気で明るく、誰にでも挨拶がしっかりできる

3 特色ある教育活動

- コミュニティ・スクールを推進する
保護者、地域と一緒に質の高い学校づくりと生徒の幸せをサポート（支援活動）
- 学習意欲の向上と学力向上を目指す
「見える化計画表」（学習・生活・考査計画）の活用による家庭学習の定着
校内三大コンテスト（漢字・スペリング・計算）や漢字検定・英語検定を実施
放課後や長期休業中の学習教室を実施 給食時に英会話、清掃時に英語の曲を放送
- 不登校生徒との心のつながりをもつ
「スマイルルーム」（別室）の活用による生徒が安心して過ごせる居場所づくり
- 生徒間のコミュニケーションを増やす
図書コーナーや教育活動スライドモニター、新聞閲覧スペース（ニュースの森）のある「立ちどまりの場」を設置
- 大久野小学校との連携を進める
小中交流会、合同引き取り訓練、特別支援学級の交流を実施



大久野中 HP

所在地	西多摩郡日の出町大字大久野1559
TEL	042-597-0352
FAX	042-597-5532
HP	http://fa.fureai-cloud.jp/ogn_j

日の出町立平井中学校

生徒数	345	学級数	9	教員数	25
支援学級（情緒固定・E組）	3	通級支援教室	3		

※令和7年4月1日現在

校長 石井 淳
 副校長 新井 瑞史
 主幹教諭 飯田 雄一
 主幹教諭 小林 章
 主幹教諭 藤原 裕之

◆校章の由来

平井中学校の校章は、昭和25年、足下田の丘の上に校舎が新築されたことを記念して正式に作られた。

第二代、中野良博校長の依頼により、当時美術の教師をしていた土肥得峰氏が、生徒と知恵を集めて完成した。校章のデザインは、平井中学校に心の花を咲かせようと、日本を代表する桜の花の「明るさ」「すがすがしさ」「純粹さ」を生かし、花弁は丸みをもたせ、「心の豊かさ」を示した。また、中学校の「中」を囲んで、平和の象徴でもある平井の平を5字組み合わせ、形のうえからも「たくましさ」を表現した。

開校	昭和22年4月1日
開校記念日	5月13日
校章制定	昭和25年

1 学校教育目標

平井の丘「文化の森」に集う子どもたちが、文化の理想を高く掲げ、平和な社会の発展と国際社会に貢献する人間として成長することを願い、全教育活動の充実・発展を期す。



人権	人権を尊重し、自他を大切にする中学生	
思考	自分の考えをしっかりともち、表現する中学生	《知》
努力	豊かな心をもち、目標の実現に努力する中学生	《徳》
健康	心身の健康の大切さを自覚し、実践する中学生	《体》

2 地域・生徒の様子

本校の学級数は、昭和62年が最多で19学級あったが、その後少子化の波が押し寄せ学級数が減っている。生徒は、2つの小学校から入学してくる。明るく元気で素直な生徒が多く、毎日210段の「あいさつ階段」を利用し登下校している。

3 特色ある教育活動

● 平井中6ヶ条による指導及び実践

【学習】「次の授業の準備をしておく」「提出物は必ず出す」「授業に積極的に取り組む」
 【生活】「目を見て挨拶する」「マナーやルールを意識する」「不要物を持ち込まない」

- 生徒理解を深めるために心理調査（KJQ）を生かし、意識して対応することで生徒の生活意欲を高め、学力向上につなげる。
- 「なないろルーム」の運営による生徒の居場所づくり。
- デジタルを活用した個別最適な学び、及び協働的な学びを実現するための授業研究。
- 日の出町学校協働活動本部事業の推進と効果的な地域人材の活用
- 学校評議委員会の意見や評価を活かした学校経営の充実



平井中 HP

所在地	西多摩郡日の出町大字平井 2654
TEL	042-597-0021
FAX	042-597-5787
HP	http://fa.fureai-cloud.jp/hri_j